

首都圏のマンション開発

吉祥寺・国分寺が穴場?

民間調査 供給予定少なめ

首都圏のデベロッパーにとって、JR吉祥寺駅や国分寺駅は穴場……。マンション関連コンサルティングのトータルブレイン(東京・港、久光龍彦社長)はこんな調査結果をまとめた。吉祥寺や国分寺は駅の集客力が高いうえ、今後のマンション供給予定も少なめ。一

方、同じ中央線沿線でも、武蔵境駅や東小金井駅などは供給予定が多く、注意が必要という。

同社によると、駅から徒歩10分圏内で平均面積が30平方メートル以上の物件の供給予定は、吉祥寺が135戸、国分寺が157戸。一方、武蔵境は87戸、東小金井は628戸の大量供給が控えている。また、吉祥寺などは交通便利性や商業施設の集積度も高く「分譲時に集客できる商圏が広い」(久光社長)としている。

調査は需給バランスや今後の供給予定を考慮してまとめた。トータルブレインは京王線沿線の府中駅や、小田急線沿線の町田駅も集客力の割に供給が少ない穴場としている。